

回 覧											

## 気を付けましょう、ネコの飼い方

問合せ：久慈市生活環境課 ☎ 0194-54-8003



屋外に出るネコは、他のネコとけんかしてケガをしたり、感染症や交通事故に遭うリスクがあり、室内飼育のネコと比べて平均寿命が1年以上\*短くなっています。

また、屋外に出されたネコは、庭でふん尿をしたり花壇を荒らしたりと、知らないところで近隣の方に迷惑をかけているかもしれません。近隣への迷惑、トラブルの原因となる放し飼いは控えましょう。

※出典：一般社団法人ペットフード協会「令和4年度全国犬猫飼育実績調査」



飼い主は、命を預かる者として、ペットの健康と安全に気を配り、命を全うするまで飼育する責任があります。ペットを捨てることは犯罪であり、仮に飼育できなくなった場合は、新たな飼い主を探すことも、飼い主としての重要な責務です。

また、迷子になっても家に帰れるよう、迷子札やマイクロチップの装着をすることも大切です。



無秩序な繁殖により、適切な飼育環境を維持できないばかりか、ふん尿などで住環境が著しく悪化するケースも発生しています。きちんと世話できる頭数を飼育するためにも、不妊・去勢手術を行うようにしましょう。

不妊・去勢手術には、生殖器系の病気の予防、マーキング行為の減少、発情期特有の大きな鳴き声がなくなるなど、飼育する上でのメリットもあります。



ネコは繁殖力が強く、栄養状態が良いと1年間で20頭以上に増えることもあります。増えすぎた野良ネコは、臭いやふん尿被害の原因となり、市にも多くの苦情・相談が寄せられています。生き物を思いやる気持ちは大切なものですが、それを理由に飼育していない動物に餌をあげて周囲に迷惑を掛けるのは無責任な行為です。野良ネコへの無責任な餌やりはやめましょう。